

平成 3 0 年 度

芸術文化学部 芸術文化学科

(募集区分b)

一般入試 後期日程

# 小 論 文

## 注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないこと。
- 2 問題は、全部で4ページ、解答用紙は1枚、下書用紙は1枚である。試験開始の合図があつてから確認すること。  
なお、試験問題に文字などの印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れなどがあつた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
- 3 試験開始後に、解答用紙の指定欄に受験番号を算用数字で記入すること。  
氏名を書いてはいけない。
- 4 解答は、すべて解答用紙に記入すること。
- 5 配付された問題冊子および下書用紙は、試験終了後、持ち帰ること。

実施年月日
30.3.12
富山大学

次の文章を読んで後の問に答えなさい。

著作物引用箇所のため非公開

## 表1 現在の働き方/やってみたいと思う働き方

### 【設問】

- (1) あなたは、現在どのような働き方をしていますか。あてはまるものをすべてお知らせください。
- (2) あなたが、現在やっている、やっていないにかかわらず、いずれ自分でやってみたいと思う働き方をすべてお知らせください。(複数回答)

## 著作物引用箇所のため非公開

注:週3日以上勤務の就労者、男女 18~49 歳 5400 人のうち、18~29 歳 3000 人のデータ。2015 年3月実施。

出所:電通総研『**若者** × 働く』調査』

### 【設問】

あなたが「社会のために働く」「社会に貢献をする」と考えたときに、あなたにとっての「社会」とは、どのイメージに近いですか。(複数回答)

## 著作物引用箇所のため非公開

### 図1 「社会」という言葉に近いイメージ

出所:電通総研『**若者** × 働く』調査』

## 著作物引用箇所のため非公開

(松永桂子『ローカル志向の時代 働き方、産業、経済を考えるヒント』から)

(注) フリーランス・・・特定の組織に属さず仕事をする人。(『広辞苑 第七版』)

(本文中の図表番号は問題に合わせて改変した。それ以外の本文、図表は原文のままである。ただし、注を付した。)

問1 本文中の①の空欄には表1の結果を受けて、若者の労働観の傾向が簡潔にまとめられている。200字以内でこの空欄にふさわしい文章を記述しなさい。

問2 次ページの図2は実在するA町の人口変化率を年齢階層別に表したグラフである。A町は離島に位置し、多様な定住戦略によって注目されている。グラフから読み取れるA町の人口変化の特徴を記述するとともに、本文に示された若者の労働観を考慮しながら、グラフのような人口変化をもたらすための工夫について、あなたの提案を600字程度で記述しなさい。

## 著作物引用箇所のため非公開

図2 A町の年齢階層別人口の変化率(2009～2014年)

(藤山浩『シリーズ田園回帰1 田園回帰1%戦略 地元に人と仕事を取り戻す』から。一部改変した。)

